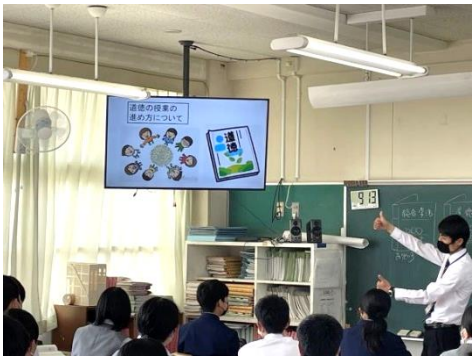
道徳の授業が始まりました

今日の１時間目は道徳の授業でした。今年度、初の道徳です。各学年で工夫を凝らした授業を紹介していました。太宰府西中学校では、道徳の授業を要とし、学校生活全体において、生徒の心をより豊かにする教育活動を推進していきます。道徳の授業では、自分の意見をまとめたり、他の人の意見を聞いて考えを深めたりします。学習内容によって、共感したり、葛藤したり、感動体験を得たりします。それによって心が揺さぶられ、自分の心にある価値観を見つめ直したり、新たな気づきがあったり、深めたりします。そして、様々な価値観を知ると共に、自分の心を豊かにし、よりよい生き方をめざしていきます。

太宰府西中学校では、道徳の授業や日々の教育活動をとおして、太西星が明るく元気で、かつ優しく思いやりにあふれ、温かい心をもった生徒になるよう、これからも生徒の育成に励みます。

☆　今日の道徳の授業の一部を紹介します



２つの絵が見えるでしょうか？
・斜め後ろ向きの女性
・老婆

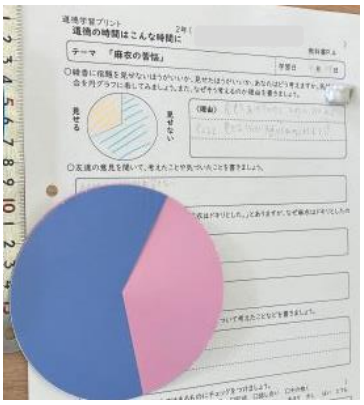
３年生は、『だまし絵』を使って授業をしていました。
物事を見る時に、見方を変えれば色々な見え方があることや、多様な価値観を受け入れることが大事であることを学習していました

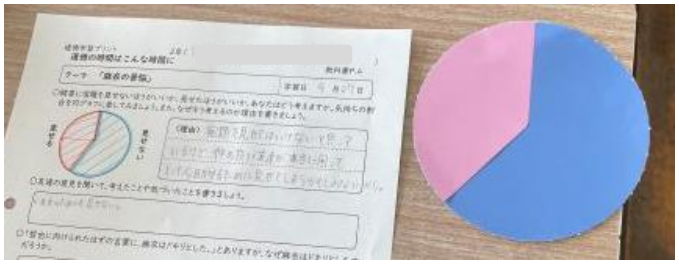
１年生は、中学校の道徳の授業について、話をしていました

２年生は、２つの異なる価値観について考えさせ、心が『葛藤』する教材をもとに授業をしていました。２つの考えのうち、それぞれが何割程度なのかを、円形の色画用紙を用いて表しています。目で見てすぐに分かるよう、工夫された教材です。また、自分の考えについて、そう考えた理由を記述しています。さらに班で意見交流することで、様々な考えに触れています。人それぞれに色々な考え方があることや、個人の考えに正解はないことなどに気づきます。また、意見交流をとおして、他の人の考えも認めるようになります。有意義な道徳の授業でした。

各自の考えを班で交流しています

それぞれの意見が書かれています





友達から『宿題見せて』と言われた時、「見せる」はピンク、「見せない」は青としてそれぞれの割合を表しています。状況に応じて見せたり、見せなかったりという考えが多かったようです。